

サイエンスとアートの広場

【開催趣旨】

産業活性化に科学技術の導入は不可欠ですが、技術のグローバル化が急速に進む現代においては、科学技術のみでは国際競争に勝てないことは、家電や半導体産業など枚挙に暇がありません。科学・技術と芸術・デザインを融合した、感性に訴える製品の創造が不可欠です。また、産業製品に留まらず、地域の街づくり、例えば、空港や庭園などの観光資源の魅力向上にも、両者の融合は欠かせません。インバウンド観光客の増加も、地域の魅力向上なくしては、画餅にすぎません。このような観点から、「文化財の保存と観光資源としての活用の両立」、「科学・技術と芸術・デザインを融合した感性に訴える製品の創造」などをテーマに、講演会を企画しました。科学と芸術が融合した未来社会の姿を想い、そこに至るための発想力鍛え、地域の魅力向上に取り組んで行く機運が醸成されることを祈念します。

【日 時】 平成30年2月27日(火) 13:00～16:20

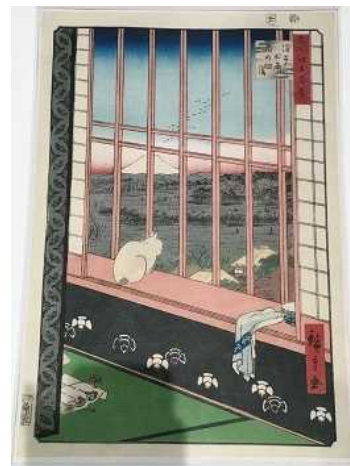
【会 場】 かがわ国際会議場
(香川県高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー タワー棟6階)

【定 員】 250名

【参加費】 無料

【プログラム】

- 12:00～12:45 開場
- 13:00～13:05 開会の辞 産総研理事長 中鉢 良治
- 13:05～13:10 ご挨拶 香川県知事 浜田 恵造 氏
- 13:10～13:15 ご挨拶 香川大学学長 筧 善行 氏
- 13:15～14:15 基調講演「芸術と科学の混在 -感動の創造-」
東京藝術大学 大学院美術研究科文化財保存学(日本画) 教授 宮廻 正明 氏
- 14:15～14:45 講演「工学的な分析ツールを使ってアートを眺めてみましょう」
香川大学 工学部 教授 荒川 雅生 氏
- 14:45～15:15 休憩(東京藝術大学 宮廻 正明 氏のクローン文化財展示品鑑賞)
※法隆寺金堂壁画・敦煌莫高窟壁画・江戸版画を体感
- 15:15～15:45 講演「未来のエンターテインメント・プラットフォームの構築」
産総研 知能システム研究部門 主任研究員 江渡 浩一郎
- 15:45～16:15 講演「文化財VRとデジタルアーカイブの現在とこれから ～最先端技術で文化を守り、未来につなげる～」
凸版印刷株式会社 文化事業推進本部 VR開発部 部長 三枝 太 氏
- 16:15～16:20 閉会の辞 産総研四国センター所長 田尾 博明



©東京藝術大学

【お申込み】 オンライン登録(下記URLより)、FAX、E-mail(定員になり次第締め切り)
<https://www.aist.go.jp/shikoku/ja/news/event/20180227/index.html>

【問い合わせ先】

サイエンスとアートの広場事務局(産総研四国センター産学官連携推進室)
TEL:087-869-3530 FAX:087-869-3554 E-mail:science-art-ml@aist.go.jp

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

サイエンスとアート 開催

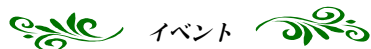
検索 CLICK!!

<http://www.aist.go.jp/shikoku/ja/news/itemid3273-004021.html>

AIST SHIKOKU NEWS

2018年2月号
2018.2.9
NO.159-2

発行：国立研究開発法人産業技術総合研究所四国センター <http://www.aist.go.jp/shikoku/>



ヘルスケア・イノベーション・フォーラム 第30回事例研究部会・第23回治験IT化部会

【日 時】平成30年2月16日(金) 13:00～17:00

【会 場】高松サンポート合同庁舎南館 101会議室(香川県高松市サンポート3-33)

【お申込み】FAX、E-mail(締切:2月9日(金))

【プログラム】

12:30～ 開場、受付開始

○第1部 第30回事例研究部会

1. 開会

2. 議事

(1) 事例研究

ー多目的サーバの実装事例紹介ー

・「済生丸のデータがK-MIX で参照可能にー離島住民の健康管理に役立つー」

(香川大学瀬戸内圏研究センター 特任教授 原 量宏 氏)

・「遠隔画像診断システム利用における地域医療・病院の取り組み」

(医療法人ブルースカイ 松井病院 放射線科 技師長 藤井 弘毅 氏)

ー多目的サーバへの実装に向けた展開ー

・「心電図伝送K-MIX 多目的サーバを利用した香川県での運用」

(株式会社イメージワン 営業企画グループ 総括マネージャー 岡庭 貴志 氏)

・「脈波観測実験装置ー光電パルスチェッカーー について」

(公立大学法人福島県立医科大学 先端臨床研究センター プロジェクトマネージャ 矢元 裕明 氏)

3. 休憩

* 話題提供 *

・「在宅医療機関のIT 化について」

(NTTエレクトロニクステクノ株式会社 マネージャ 原野 寛志 氏)

・「『患者アプリ』のシステムのデモと活用方法」

(株式会社アスクレップ PDS事業開発部 マネージャー 竹位 和也 氏)

・「APT-C1 ミャンマーにおける周産期プロジェクトに関して」

(BHNテレコム支援協議会 理事 樽松 八平 氏)

○第2部 第23 回治験IT化部会

1. 開会

2. 議事

・「K-MIX+を活用した ANAFIE Registry の推進ー経過報告ー」

(第一三共株式会社 メディカルサイエンス部 主査 鍋木 淳平 氏)

3. その他報告事項

4. 閉会

【問い合わせ先(申込み先)】

ヘルスケア・イノベーション・フォーラム事務局

TEL&FAX:087-887-4967 E-mail:hcif@healthcare-innovation-forum.jp

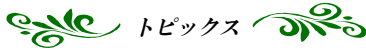
【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

HCIF

検索

CLICK!!

<http://healthcare-innovation-forum.jp/>



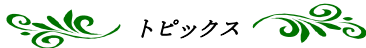
四国オープンイノベーションワークショップを開催しました。 ～ご希望の方に講演資料を送付いたします～

平成30年1月31日(水)、高知会館において「四国オープンイノベーションワークショップ in 高知」を開催いたしました。おかげさまで企業他160名近くの皆様にご参加いただきました。
ご参加いただいた皆様、発表者の皆様、ポスター出展等にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



四国オープンイノベーションワークショップで使用した講演資料集の冊子を先着順にて無料で送付いたします。

ご希望の方は、四国センター産学官連携推進室【shikoku-event-ml@aist.go.jp】まで、氏名・会社名(団体名、機関名)・送付先住所を明記のうえ、お申込み下さい。後日、郵送にて送付させていただきます。



産総研の最近の主な研究成果 (平成30年1月のプレス発表より)

<発表・掲載日:2018/01/15>

薄膜トランジスタアレイの検査技術を大幅に高速・大面積化 —印刷法で製造したディスプレイなどの駆動回路の非破壊インライン検査が可能に—

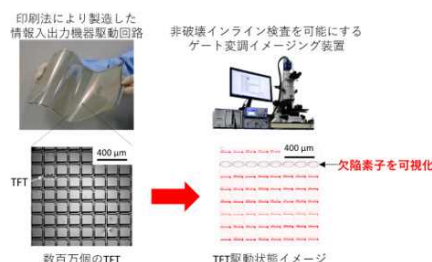
【ポイント】

- ・薄膜トランジスタ(TFT)アレイの駆動状態を光学イメージ化して非破壊で一括検査する技術を大幅に改良
- ・ディスプレイなど情報出力機器のTFTとストレージキャパシタ 30,000素子を3分以内に一括検査
- ・印刷法で製造した大面積デバイスのインライン検査を可能にし、高品質化に貢献

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2018/pr20180115/pr20180115.html

(フレキシブルエレクトロニクス研究センター)



<前ページから>

<発表・掲載日：2018/01/18>

害虫の殺虫剤抵抗性は共生細菌を介してあっという間に発達する —殺虫剤抵抗性の害虫発生を未然に防ぐ新たな技術開発に向けて—

【ポイント】

- ・害虫の殺虫剤抵抗性は、共生細菌を介することで従来考えられていたよりも急速に出現する
- ・2回の殺虫剤散布で土壤中の殺虫剤分解菌が増え、害虫カメムシに感染して殺虫剤抵抗性を与える
- ・殺虫剤抵抗性の害虫の発生を未然に防ぐ新たな技術開発への貢献に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2018/pr20180118/pr20180118.html

(生物プロセス研究部門、環境管理研究部門)



<発表・掲載日：2018/01/23>

高出力フレキシブル熱電モジュールの開発 —湾曲した熱源に対し温度差70℃で87 mW/cm²の発電を実証—

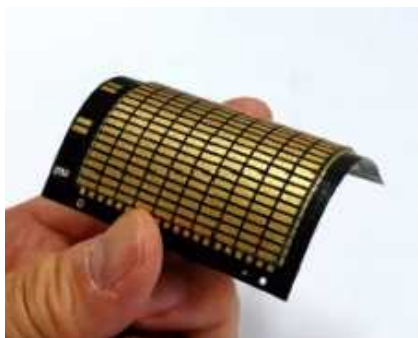
【ポイント】

- ・湾曲熱源に適用可能な、温度差70℃で87 mW/cm²の高出力フレキシブル熱電モジュールを開発
- ・ビスマス・テルル材の発電性能を従来比1.5倍に高め、その大量生産が可能な製造プロセスを確立
- ・曲面などさまざまな場所への設置を容易にし、廃熱(未利用熱)を活用した発電の用途拡大に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2018/pr20180123/pr20180123.html

(物理計測標準研究部門)



<次ページへ>

<前ページから>

<発表・掲載日：2018/01/26>

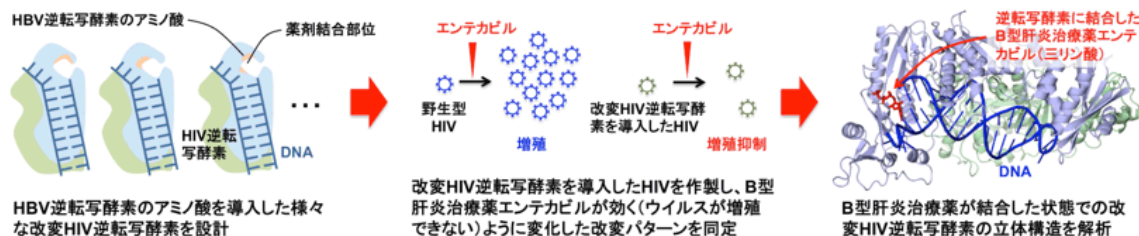
エイズウイルスの力を借りてB型肝炎治療薬の作用機構と薬剤耐性の仕組みを解明 —エイズウイルスの逆転写酵素をB型肝炎ウイルスの逆転写酵素に似せて改変—

【ポイント】

- ・改変したエイズウイルスの逆転写酵素にB型肝炎治療薬エンテカビルを結合させ、その立体構造を解析
- ・エンテカビルが逆転写酵素に結合する仕組みと薬剤耐性が生まれる仕組みを解明
- ・薬剤耐性B型肝炎ウイルスに作用する新薬開発に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2018/pr20180126/pr20180126.html
(生物プロセス研究部門)



<発表・掲載日：2018/01/31>

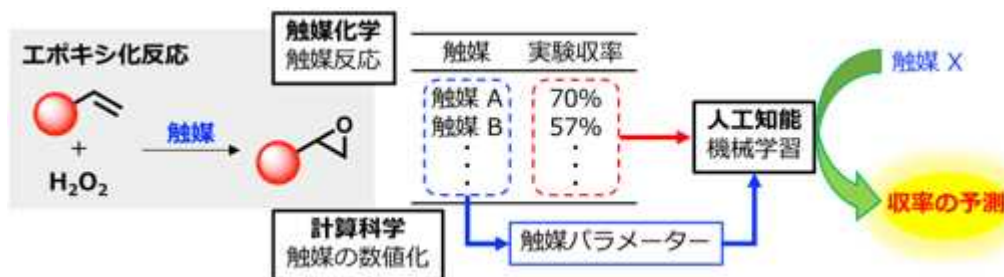
人工知能(AI)で触媒反応の収率を予測 —キャタリストインフォマティクスで触媒の発見に道—

【ポイント】

- ・使用する触媒構造の情報だけで触媒反応の収率を予測するAI技術を開発
- ・予測に大きく寄与するパラメーターを自動的に・客観的に選別し、触媒活性の鍵となる化学構造を特定
- ・今後、キャタリストインフォマティクス(触媒化学と情報科学の融合)を活用した触媒の発見に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2018/pr20180131/pr20180131.html
(触媒化学融合研究センター、人工知能研究センター、機能材料コンピューショナルデザイン研究センター)





産業振興セミナー in 愛媛 ～「四国健康支援食品制度」の活用事例～ (主催：四国アライアンス、(一財)四国産業・技術振興センター)

【開催趣旨】

四国銀行(頭取 山元文明)、阿波銀行(頭取 長岡奨)、百十四銀行(頭取 綾田裕次郎)および伊予銀行(頭取 大塚岩男)は、本年6月から運用開始となった「四国健康支援食品制度」の説明と同制度を活用した事例を紹介する「産業振興セミナー」を四国四県で順次開催します。

四国アライアンスは、同制度を活用した産業振興の取り組みを通じて、四国全体のブランド力ならびに付加価値向上を図ってまいります。

【日時】平成30年2月21日(水) 13:30～16:00

【会場】伊予銀行本店南別館2Fセミナールーム(愛媛県松山市三番町5-10-1)

【定員】50名(1社3名様迄)

【対象】四国健康支援食品制度にご興味のある企業様等

【参加費】無料

【お申込み】FAX、持参(4行の担当者に提出)

【プログラム】

13:35～14:05 制度説明

一般財団法人四国産業・技術振興センター(STEP)

14:05～15:15 事例紹介

(株)レアスウィート(香川) 希少糖(プシコース・ソルボース他)

酔鯨酒造(株)(高知) 葉酸・B6・B12

(株)中温(愛媛) 栗渋皮抽出物

15:30～16:00 個別商談会

(株)レアスウィート(香川)、酔鯨酒造(株)(高知)、(株)中温(愛媛)、

STEP(四国内有望素材のご提案)

【問い合わせ先(申込み先)】

四国銀行 地域振興部 担当:藤崎・栄田

TEL:088-871-2358 FAX:088-873-1483

【プログラム等の詳細はこちらから】

産業振興セミナー 愛媛 四国

検索 CLICK!!

http://www.shikokubank.co.jp/newsrelease/files/20171220s_order.pdf



他機関の情報

平成29年度高温高压流体・マイクロ波技術講演会

(主催：(公財)かがわ産業支援財団)

【開催趣旨】

(公財)かがわ産業支援財団地域共同研究施設(RISTかがわ)では、高温高压流体技術やマイクロ波技術の研究を行っています。これらの技術の最新情報を提供し、県内企業等の方々に新商品開発やものづくり等の製造技術革新に取り組んでいただくため、下記のとおり技術講演会を開催します。

【日時】平成30年2月23日(金) 13:30～16:20

【会場】香川産業頭脳化センタービル 2階一般研修室(香川県高松市林町2217-15)

【定員】100名

【参加費】無料

【お申込み】FAX、E-mail(締切:2月16日(金))

【プログラム】

- 講演「高温・高压流体から透明ガスバリア粘度膜に関わる応用技術」
産総研 東北センター 上席イノベーションコーディネータ兼産業技術総括調査官 南條 弘
- 事例紹介①「マイクロ波による農産物の加工」
(公財)かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究アドバイザー 加藤 俊作 氏
- 事例紹介②「超臨界抽出成分を用いた食品製造技術の開発」
(公財)かがわ産業支援財団 地域共同研究部 主任研究員 中西 勉 氏

【問い合わせ先(申込み先)】

(公財)かがわ産業支援財団 地域共同研究部
TEL:087-869-3440 FAX:087-869-3441 E-mail:rist@kagawa-isf.jp

【プログラム等の詳細はこちらから】

かがわ マイクロ波 講演会

検索

CLICK!!

<http://www.kagawa-isf.jp/topics/h29/20180126-020.pdf>



かがわエネルギー産業フォーラム勉強会（平成29年度第2回）

（主催：香川県）

【開催趣旨】

香川県では、香川県産業成長戦略において成長のエンジンとなるエネルギー関連分野の産業を育成し、技術開発支援を目的とする「かがわエネルギー産業フォーラム」を設立し、セミナー等を開催しています。

このたび、エネルギー産業に関するさまざまな情報発信を行い、企業の取り組みの拡大につながるよう、平成29年度第2回の勉強会を開催します。エネルギー分野に関連した企業や研究機関のほか、これからの進出を考えている方は、是非御参加ください！

【日時】平成30年3月6日(火) 14:00～16:30(予定)

【会場】レクザムホール 小ホール棟5階 多目的大会議室B(香川県高松市玉藻町9-10)

【お申込み】FAX(締切:2月27日(火))

【プログラム】

14:00～ 開会

14:10～15:10 【講演1】熱電素子による未利用熱の有効利用
産総研 省エネルギー研究部門 熱電変換グループ長 山本 淳

15:20～16:20 【講演2】キャパシタ電極用カーボン材料の開発
産総研 創エネルギー研究部門 エネルギー変換材料グループ長 曾根田 靖

16:20～16:30 その他

【問い合わせ先(申込み先)】

香川県 商工労働部 産業政策課

TEL:087-832-3351 FAX:087-806-0210 E-mail:sangyo@pref.kagawa.lg.jp

【プログラム等の詳細はこちらから】

かがわエネルギー 2回

検索 CLICK!!

http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir6/dir6_2/dir6_2_3/wgl8w2180126090609.shtml